Rotary　インスピレーションになろう

2018-2019
WEEKLY REPORT

春日井ロータリークラブ

クラブテーマ
“未来に向けて　帆を上げよう！”

会　　長：川瀬治通
副　会　長：和田了司
幹　　事：古屋義夫
会報委員長：青山博徳

事務局：春日井市鳥居松町5-45
TEL ： 0568-81-8498 FAX:0568-82-0265
E-mail ： ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
ＨＰ ： http://www.kasugai-rc.jp

例会場：ホテルプラザ勝川　　例会日：金曜日　12:30-13:30

本日のプログラム

	司会	会場委員会
・点　鐘	会長	川瀬　治通君
・ROTARY　SONG	「日も風も星も」	
・今月の歌	「四季の歌」	
・ビジター紹介	会長	川瀬　治通君
・食事・歓談		
・委員会報告		
・会長挨拶		
・ＩＤＭ		
・幹事報告	幹事	古屋　義夫君
・点　鐘	会長	川瀬　治通君

今月の歌

「四季の歌」

1.春を愛する人は　　　心清き人
　スミレの花のような　　ぼくの友だち

2.夏を愛する人は　　　心強き人
　岩をくだく波のような　ぼくの父親

先週の記録

会長挨拶　　　　　**会長　川瀬　治通君**

「犬山」

ガバナー訪問時には、たくさんの皆様に春日井までおいでいただき、ありがとうございました。今日はその返礼として訪問させていただきました。今年度、私達は創立50周年ということで、様々な行事が続いたため、お返しの合同例会がこんなに遅くなって申し訳ございませんでした。

犬山ロータリークラブは私たちから見ると「おじいさんクラブ」にあたります。子クラブ・孫クラブの名古屋空港、名古屋城北ロータリークラブとの合同例会の機会は時々ありますが、伝統ある

2019年6月21日(金)2409回(6月第3例会)

名門の犬山ロータリークラブと合同例会を開催するのは初めてで、大変光栄であります。

犬山というと、犬山城をはじめ、犬山鵜飼い、明治村など観光スポットがたくさんあります。残念ながら春日井には観光スポットと呼べるものがほとんどありませんので、海外の姉妹クラブが来訪された時には必ず観光コースに入ります。また、プライベートでも家族や友人と度々訪れています。それほど私たちにとって犬山は身近な存在であります。

私事ではありますが、小生は内科医で肝臓病を専門としています。我が国の肝臓病の研究会として最も有名なのが、犬山の名前を冠した「犬山シンポジウム」です。1960年代に始まったこのシンポジウムは、ここ名鉄犬山ホテルにおいて当初は毎年、現在は2年ごとに開催され、昨年で32回を数えています。全国から肝臓を専門とする教授達が集まり、昼間の会議だけではなく、夜遅くまで杯を酌み交わしながら、本音で意見交換をします。

このシンポジウムで1972年に決められた慢性肝炎の組織診断の基準「犬山分類」は、1995年に改訂され「新犬山分類」と呼ばれ、40年以上たった今でも肝臓の状態や治療方針決定の指標として汎用される『ゴールド・スタンダード』であります。肝臓専門医であれば、「犬山」の名前は誰でも知っており、特に私たち1970年代に研鑽を積んだ肝臓専門医からすると「犬山」は『肝臓病の聖地』であります。

そのような犬山の地で例会を開催できる

例会予定	7月5日（金）	7月12日（金）	7月19日（金）	7月26日（金）
	第1回理事会 11:00～ 全員協議会 第1回クラブ協議会 13:40～	クラブフォーラム 祝福	休会(定款8－1)	IDM　18:00～ 水徳

は本当に嬉しく思います。本日は誠にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

幹事所感　　　　　　　　**幹事　古屋　義夫君**

本日は歴史ある犬山ロータリークラブさんと我、春日井ロータリークラブの合同例会です。
地区ガバナーの方針で何時もとは全く違うロータリークラブさんとガバナー公式訪問をさて頂き、かなり緊張していたのを思い出して非常に懐かしく感じています。

それというのもこういう事でもなければ未来永劫絶対に合同例会なんてする事がないであろうクラブさんと合同例会をさせて頂くにあたりあらゆる事がホームクラブと大きく違い何度も何度も、お会いさせて頂き、そしてお話をし、お打ち合わせをさせていただく内に不思議なくらいに親近感を持っていた自分に気付き正直驚いています。

ロータリーの友情とはこういう形でも十分に存在する事が身をもって理解出来、私自身もどちらかというと閉鎖的な日本人の中では、かなりフレンドリィで進歩的であると自負もありました。
まさか自分は…と、そんなつもりも無く全く意識をしていませんでしたがまさに″井の中の蛙大海を知らず″の如く狭い殻の中に知らず知らずに閉じこもっていた自分自身を客観的に認識出来た事は非常に驚きでありまさにロータリーからのギフトでした。

これを機に今後は犬山ロータリークラブの皆さんとはもちろんのこと他のロータリークラブさんとも積極的に交流を広げて友情を深めて参りたいと考えておりますので宜しくお願い致します！

◎例会変更のおしらせ

小　　　牧 Ｒ　　　Ｃ	6 月 26 日（水） 最終例会の為　　未定

◎例会休会のお知らせ

瀬戸ＲＣ　　　　　　　　６月２６日（水）休会
尾張旭ＲＣ　　　　　　　６月２８日（金）休会

出席報告　　　　　　**委員長　小柳出　和文君**

会員　52 名	欠席 31 名	出席率 41.5%
先々週の修正出席	欠席 3 名	出席率 94.2%

ニコボックス委員会　　　**委員長　藤川誠二君**

○犬山ロータリークラブとの合同例会に出席できた喜びで　　　　　　　　　　川瀬　治通君
○犬山ＲＣさんお世話になります。
　　　　　　　　　　　　　　　加藤久仁明君
○犬山ロータリークラブ様との　合同例会ありがとうございます。　　　　　　古屋　義夫君
○懐かしい犬山の友人との再会の喜びで
　　　　　　　　　　　　　　　青山　博徳君
○合同例会よろしくお願いします。

梅村　　守君	大原　泰昭君	加藤　宗生君
北　　健司君	下田　育雄君	社本　太郎君
栃本　正樹君	内藤　修久君	長曽　篤志君
成瀬　浩康君	西村　輝幸君	速水　敬志君
日比　雄将君	三上　　努君	山田　　治君
和田　了司君		

○ご協力ありがとうございます。
　　　　　　　　　　　ニコボックス委員会　一同

犬山ＲＣ会長挨拶　　　　　　**日比野万喜男君**

皆さん こんにちは。
まず、本日のお客様を紹介させていただきます。春日井 RC、川瀬会長はじめ 24 名の皆様です。分区内交流の一環としまして、２クラブ合同でガバナー訪問されたクラブ同士の、ホストを変えての合同例会です。本日は、ようこそおいで下さいました。心より歓迎致します。又、本日は加藤ガバナー補佐と成瀬分区幹事もお見えです。昨日は東尾張分区現次期会長幹事会があり、大いに盛り上がりました。お二人には大変お世話になり、ありがとうございました。最後までごゆっくりご歓談していって下さい。そして、もうひと方、米山奨学生ホリヨロブ・エルヨールさんです。このあと、ご挨拶していただきます。よろしくお願い致します。
　さて、皆さん「ネイチャーテクノロジー」という言葉をご存じでしょうか。ネイチャーとは自然です。自然は私たちが見習うべきテクノロジーの宝庫です。そして、私達は、その自然から新しい暮らし方の知恵を学ぶこともでき、そうした自然のすごさを賢く活かす技術を「ネイチャーテクノロジー」と言っています。
　どんな技術があるかといいますと、
・昼は 50℃を越し、夜は０℃を下回るサバンナ地帯。そこに住むシロアリの巣の中の温度はなぜいつも 30℃で一定なのだろうか ― その疑問から「無電源エアコン」が生まれました。
・カタツムリの殻はなぜ汚れないのか ― その疑問から、雨が降れば汚れが落ちるビル外壁材料や、汚れの付きにくい、キッチンが生まれました。
・泡は熱を運び、泡が弾ける時に出す超音波は、洗浄機能があります。 ― そこから「水の要らないお風呂」の考えがでました。
・トンボの羽の表面はなぜギザギザなのか ― その疑問から、「そよ風」でも発電できる可能性があると判ってきました。
・コウテイペンギンはなぜ高速で泳げるのか ― その疑問から、船底から空気を吹き出し、水の抵抗を

少なくし、速度を速め、燃費を改善した運搬船を開発しました。
など、その他にもまだまだありますが、それら一つ一つを具体的に話をしますと興味深い内容になりますが、時間的に無理がありますので、次の機会にさせていただきます。

18 世紀後半、イギリスで始まった産業革命以来、先進国を中心に大量生産の社会が世界を席巻するようになりました。その結果、地球への負荷は、すでに地球が持つ再生能力の限界を超え、一方再生不可能な地下資源やエネルギーの枯渇も具体的な現象として見えてきました。今、人類が存続できるかどうかが問われる危機的な状況を招いていると言っても過言ではないようです。世界では、この人類存続に関わる問題に正面から取り組んでいるにもかかわらず、一向に解決の方向に向かっていないというのが現状です。それは、人は「一度得た快適性や利便性を容易に放棄できない」という欲望を持っており、今を変えられないからだと思われます。ですから、快適性や利便性をそのままに、しかも地球への負荷を最小限におさえる「新しいものづくりや暮らし方」を創出する必要があります。

地球上には、無数の命が宿っています。その命達は、化石エネルギーを使うことなく、地上に降り注ぐ太陽の光や熱をうまく使って、生きています。それらは、地球 46 億年の歴史の知恵の結晶であります。この知恵を私達は学び、活かそうとするのが、「ネイチャーテクノロジー」です。

地球環境が良好な時は、限りある資源を奪い合うある程度の競争は、多少の問題が発生する程度で収まるかもしれませんが、地球が再び寒冷期に突入したら、そういう訳にはいかないと思われます。地球の寒暖の歴史は、概ね、10 万年「氷期」が続き、氷期が縮小する暖かい「間氷期」が 1 万年、次に「氷期」の 10 万年、「間氷期」の 1 万年、その繰り返しです。現在は間氷期の終わり頃です。にもかかわらず、エネルギーを使い果たそうとしています。

人類が存続するには、シェルドンが提唱したロータリー倫理訓 第 11 が示すように、世界で限りある資源を分かち合い、その少ない資源と「ネイチャーテクノロジー」のような自然を活かした技術を含む現代の最新の科学技術を融合させた社会を築いていく必要があるのではないでしょうか。
以上、本日の会長挨拶と致します。

卓話　　犬山ＲＣ　　　　塚原義成君

プロトコール（国際儀礼）とマナー

　　プロトコール(国際儀礼)　5 原則

1.　地域慣習　異文化の尊重
互いの地域の慣習や文化を尊重すること敬意を払う事。「郷に入っては郷に従え」

2　序列に配慮
並び順、席次、入場順公式行事や式典での並び順や席次晩餐会での入場順位や席次

3　右上位
昔からのことわざ　「左遷」「右にでるものなし」
席順　主催者を基準に右左となる。
車の席　　運転手の後ではなく右手側　左ハンドルなら助手席の後
エレベーター　　入口からみて奥の左側(入口をみて右手側になる)

4　答礼　相互主義
接待されたら同様に接待をお返しする。
交流は必ず相互の交流でなければならないという考え方。

5　レデイ　ファースト
中世のヨーロッパ騎士道からきたものといわれています。
建物やエレベーターの出入り、乗り物の乗り降り。
階段は上りは女性が上、下りは男性が先(下)
由来は、中世でナイト(騎士)が自分を守るために、先に女性を歩かせ危険を回避したことからとされている

犬山ロータリークラブとの合同例会

犬山ＲＣ会長挨拶

川瀬会長挨拶

市制 76 周年記念式典にて一般表彰

卓話　犬山ＲＣ　塚原　義成君

セブＲＣと記念撮影

創立 40 周年記念植樹

あしなが事業　奨学金の授与